

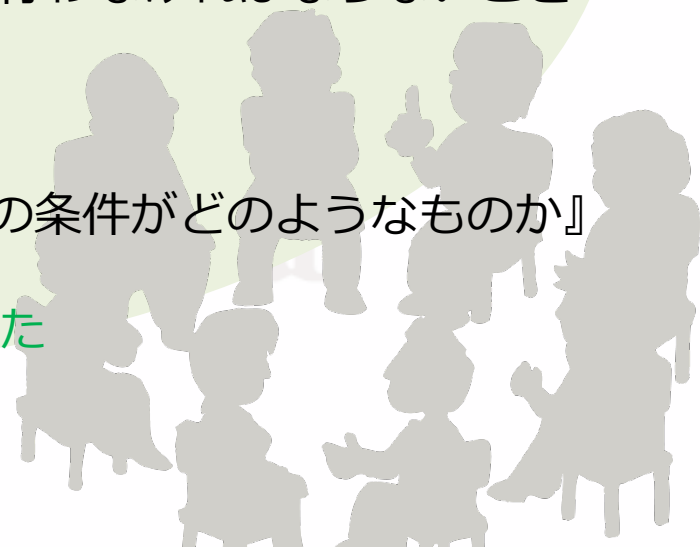


主体的学び研究所

「自ら学び、活用する」人材育成のために

- 主体的に学び、考え、行動する人材はどうすれば育成できるのだろうか
- この課題に対して、私たち全員が行えること・行わなければならないことは何でしょうか
- 私たちは
『人々が主体的に学ぶための環境や仕組みなどの条件がどのようなものか』
を研究するために、

主体的学び研究所を設立しました



主な研究所の活動



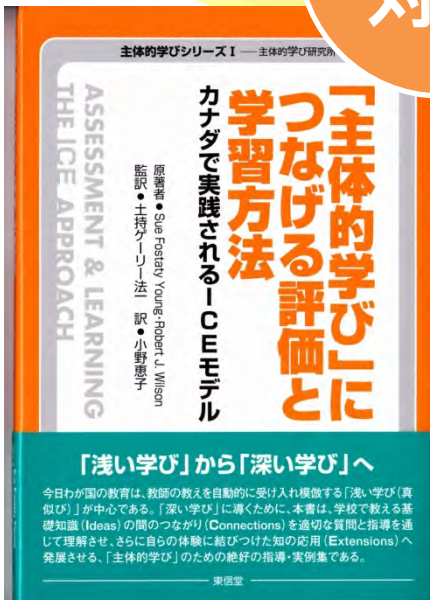
映像
対談

勉強会
セミナー

主体的
学び

出版

調査
研究



勉強会 セミナー

✓ 大学関係者や学校関係者向け

1 反転授業実践セミナー

2 ICE アクティブラーニング勉強会

3 企業向けアクティブラーニングセミナー

など、外部企業での講演等、多数開催



講師: 土持ゲリー法一先生

開催日

【入門コース】8月 6日(土) 13:30~16:30

【応用コース】8月27日(土) 13:30~16:30

於 メディアサイト株式会社(主体的学び研究所)

主催: 主体的学び研究所、メディアサイト株式会社
〒102-0084 東京都千代田区九段北1-11-5 グリー・オーブビル5F
Phone: 03-5457-1448



ICEモデル実践者のためのQ&Aセッション開催!

緊急告知

Sue先生 & Gary先生の ICEアクティブラーニング勉強会

ICEモデルの提唱者Sue Fostaty Young先生(カナダ・クイーンズ大学)による、皆さんのICEモデル実践に沿った質問とディスカッションの機会! ファシリテーションは当研究所顧問土持ゲリー法一先生です。

Sue先生、Gary先生、参加者全員で勉強しませんか

日時: 2017年1月13日(金) 15:00~17:00

会場: メディアサイト株式会社 主体的学び研究所(東京・新橋)

対象: 学校関係者でICEモデル実践に関わる教員職員の方。

お申し込み時に必ず、ICEモデルに関する質問を1つ以上添付。

お申込み: ご所属・連絡先電話番号・職位・お名前・ご質問を添えて、allinfo(アットを記号に変えてください) activelily.jpにご送付ください。

お申し込み後に会場地図などをご送付します。

言語: 基本的に英語

出版

✓ 雑誌、単行本の刊行

1 『主体的学び』創刊号～4号、別冊、5号編集中

2014年春、東信堂より刊行。主体的学びを促す優れた取り組みや教育改善事例、**アクティブラーニングの本質に迫る**提言などを掲載。別冊では、研究テーマの一つ「高大接続」のテーマで**高校を中心に編集**。

2 『「主体的学び」につなげる評価と学習方法—カナダで実践される**ICEモデル**』Sue F. Young原著、土持

リー法一監訳（東信堂、2013）

学習者が**知識（Ideas）**を理解し、**つなぎ（Connections）**、**実際に使っ**

たり応

用できる（Extensions）ように導く学習・評価方法。質的評価について

ICE

とし

ルーブリックを活用することから、アクティブラーニングの評価の参考として、各段階の学校で注目されている。

例）広島県下では、「広島版「学びの未来」アクション・プラン」において、本書が

映像 対談

✓ 国内外の教育関係者との対談や ラウンドテーブルディスカッションをHP で公開

- 1 国内の学校の現場で、先進的な研究や教育活動が続けてきたキーパーソンを招いてのインタビュー集 **＜主体的学び研究所対談シリーズ＞**
- 2 海外、カナダやアメリカの教育機関、SoTLやFD(ED)など学会のリーダーとともに、日本との比較をしながらのディスカッション。現地でも実現困難な貴重な対談企画を常時公開。



調査研究

✓ 国内外の大学等の主体的学びの調査研究

教育改善・研究支援の調査結果の報告（出版）や次ステップの検討・企画、実施。

例1：高大接続研究—

①帝京大学八王子キャンパス『入学準備教育「帝京学」』の**高大接続、追跡調査**。

②高校1年生、2年生対象の「**帝京学**」による**キャリア教育プログラム**の提供。

例2：A大学A学科。主体的学び研究所とタイアップして**ICEモデル**反転授業実践をする**学長**

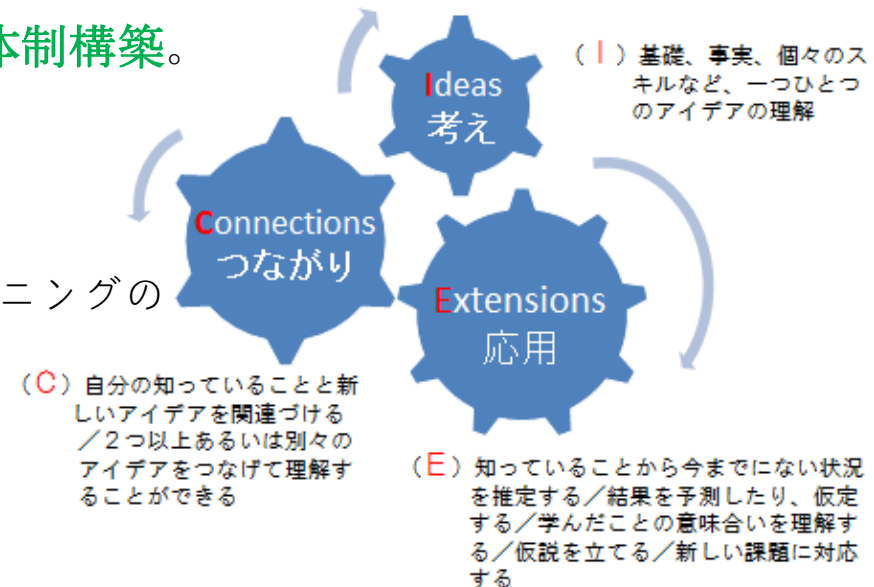
予算研究費を獲得。取組み支援体制構築。

✓ IT利用方法の調査研究

- 映像を効果的に用いた**反転授業**、および**フィードバック映像**によるアクティブラーニングの実現支援と実践研究。
- 反転授業コンテンツ実践**セミナー**の開催。

✓ ICEモデルの活用と実践研究

- 帝京大学、広島県立安芸高等学校、広島県立祇園北高校、東日本国際大学等のICEモデル活用実証および研究活動



お問い合わせやご要望はこちらへ・・・

主体的学び研究所HP(お問い合わせWebページ)

http://www.activellj.jp/?page_id=15



Active Learning Lab

名 前 主体的学び研究所 Active Learning Lab

設立日 2012年11月1日

構 成	所 長	重田 拓緒	顧 問	土持ゲーリー法一
	フイロー	倉部 史記	客員フイロー	中西 徹
	客員フイロー	船守 美穂	名誉フイロー	Rob Lipps
	研究員	花岡 隆一		
	研究員	西脇 裕矩	研究員	大村 昌代

ホームページ <http://www.activellj.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/shutaitekimanabi/>

所在地 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目11-3 新橋住友ビル8階

連絡先 TEL 03-6452-9048 FAX 03-6452-9045